

問1 日本の中央銀行である日本銀行は、日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行・管理することができる機関です。この役割を何と呼びますか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

1. 発券銀行 2. 銀行の銀行 3. 政府の銀行 4. 市中銀行

問2 日本の中央銀行である日本銀行は、国内で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行できる役割を持っています。この役割を指す名称として正しいものを、次の中から選びなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 発券銀行 2. 政府の銀行 3. 銀行の銀行 4. 管理銀行

問3 日本銀行が、景気の安定を図るために公開市場操作などの手段を用いて、世の中の通貨量や金利を調整する政策の名称を何といますか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 金融政策 2. 財政政策 3. 産業政策 4. 貿易政策

問4 現代の経済活動において、貨幣が果たしている基本的な機能について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 商品やサービスの価値を価格として表し、交換の仲立ちをする機能。
2. 民間の銀行が景気の状態に応じて、独自の判断で紙幣を発行する機能。
3. クレジットカードのように、実際の支払いを将来に先送りする機能。
4. 円高や円安といった為替相場の変動を、常に一定の範囲に抑える機能。

問5 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。
2. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。
3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることによって、市場の通貨量を「増加」させる。
4. 日本政府が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。

問6 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際の、市場における通貨の流れと景気への影響を説明した文章として、適切なものを選びなさい。（2015年 高知県公立入試 類似）

1. 日本銀行が国債を買い入れることで市場の通貨量が増え、銀行の貸し出しが促進されることで景気を刺激する
2. 日本銀行が国債を買い入れることで市場の通貨量が減り、物価の上昇を抑えることで経済を安定させる
3. 日本銀行が国債を売り出すことで市場の通貨量が増え、消費者の購買意欲を高めて景気を回復させる
4. 日本銀行が国債を売り出すことで市場の通貨量が減り、銀行の貸し出しが抑制されることでインフレーションを防ぐ

問7 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの状態にあるとき、中央銀行である日本銀行が行う政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。
2. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。

問8 家計が銀行に預金をして受け取る利子を「利子A」、家計が銀行から資金を借りて銀行に支払う利子を「利子B」としたとき、銀行が利益を得て経営を成り立たせるために取られている一般的な手法として、最も適切なものはどれですか。（2025年 京都公立入試 類似）

1. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。
2. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも低く設定する。
3. 利子Aと利子Bの利率を、常に同じ数値に設定する。
4. 家計から預かった預金を、すべて無利子で他の家計に貸し出す。

問9 日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすときに行う具体的な業務の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 国が発行する国債に関する事務や、税金などの国庫金の管理を行う。
2. 全国の家計から預金を集め、それを原資として地方自治体に融資を行う。
3. 深刻な不況の際に、経営難に陥った全国の工場へ直接運転資金を貸し付ける。
4. 株式会社の株主総会に出席し、企業の経営方針に対して直接的な助言を行う。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 発券銀行	日本銀行は、法律によって日本銀行券を独占的に発行する権利が与えられています。この役割を「発券銀行」と呼びます。他にも、一般の銀行に対して資金の貸し出しなどを行う「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」としての役割を合わせた3つが、日本銀行の主な機能です。
問2	答え 1 発券銀行	日本銀行は法律によって、日本国内で通用する唯一の紙幣である日本銀行券を発行する権限を与えられています。この独占的な役割を通じて、世の中に出回る通貨の量をコントロールし、物価の安定や経済の健全な発展に寄与しています。なお、硬貨（貨幣）の発行は政府が行っています。
問3	答え 1 金融政策	中央銀行である日本銀行が、景気や物価の安定を目的として、国債の売買などを通じて世の中の通貨量をコントロールすることを金融政策と呼びます。主な手法は公開市場操作です。政府が行う増減税や公共投資などの経済対策は財政政策と呼ばれ、これらは「景気の調整」という目的は共通していますが、実施する主体と手段が異なります。
問4	答え 1 商品やサービスの価値を価格として表し、交換の仲立ちをする機能。	貨幣には主に、商品やサービスの価値を「価格」という共通の尺度で示す機能、商品の交換をスムーズにする「交換の手段」としての機能、そして価値を蓄えておく「価値の保存」としての機能があります。日本において紙幣（日本銀行券）を発行できるのは中央銀行である日本銀行のみであり、一般の民間銀行にその権限はありません。また、クレジットカードは決済手段の一つですが、貨幣そのものではなく信用に基づく後払いの仕組みです。
問5	答え 1 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気時に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネーストック）の供給が絞込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気時に行われる「買いオペレーション」の説明です。
問6	答え 1 日本銀行が国債を買い入れることで市場の通貨量が増え、銀行の貸し出しが促進されることで景気を刺激する	買いオペレーションの目的は、不況時に市場へ資金を供給することにあります。日本銀行が国債を買い入れることによって、市中銀行が保有する現金が増加します。その結果、銀行は企業や個人にお金を貸し出す余裕が生まれ、設備投資や消費が活発化することで景気の回復が図られます。「通貨量を増やす」と「銀行の貸し出しやすさ」の因果関係が重要です。
問7	答え 1 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。	インフレーションの際には、市場に出回る通貨の量を抑えて景気を安定させる必要があります。日本銀行が民間銀行に国債を売る「売りオペレーション」を行うと、代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ回収されます。これにより市場の通貨量が減り、資金の需給関係から利子（金利）が上昇します。利子が上がると企業や個人がお金を借りにくくなるため、経済活動が抑制され物価の上昇が抑えられます。
問8	答え 1 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。	銀行は、多くの家計から集めた「預金」を、資金を必要とする家計や企業に「貸し出し」しています。この際、貸し出す側から受け取る利子（利子B）を、預金者に支払う利子（利子A）よりも高く設定することで、その差額（利ざや）を銀行の運営費用や利益に充てるという仕組みになっています。
問9	答え 1 国が発行する国債に関する事務や、税金などの国庫金の管理を行う。	日本銀行は国の資金（国庫金）の出し入れを管理したり、国が借金をするために発行する国債の事務手続きを行ったりすることで、政府の経済活動を支えています。一般の企業や家計と直接的な資金のやり取りを行うことはありません。